

平成 30 年 2 月 28 日



たのしいあらいきた

妙高市立新井北小学校

答えは歩いてこない

校長 藤田 由江

朝がくると

朝がくると とび起きて
ぼくが作ったのでもない
水道で 顔をあらうと
ぼくが作ったのでもない
洋服を きて
ぼくが作ったのでもない
ごはんを むしゃむしゃたべる

それから ぼくが作ったのでもない
本やノート
ぼくが作ったのでもない
ランドセルに つめて
せなかに しょって

まど・みちお

さて ぼくが作ったのでもない
靴を はくと
たったか たったか でかけていく
ぼくが作ったのでもない
道路を

ぼくが作ったのでもない
学校へと
ああ なんのために

いまに おとなになったら
ぼくだって ぼくだって
なにかを 作ることが できるように なるために

昨年の「朝がくると」

昨年の3月、「『当たり前のことを当たり前にかけているか』『当たり前のことを当たり前にかけることに、感謝の気持ちをもって生活しているか』と、朝が来るたびに自分に問いかけ、当たり前登校準備を当たり前にして、感謝の気持ちでぼかぼかになった心で、にこにこ笑顔で登校してきてほしい。今日、当たり前のことを当たり前にすることが、自分の可能性の発揮につながることを、みんなの明るい未来につながることを実感してほしい」、そんな願いを込めて、「朝がくると」を校長室前に掲示しました。

答えを自ら粘り強く求める子どもに

今年の3月は、「子どもたちに、抱いた疑問の答えを自ら粘り強く求めてほしい」という願いも加えて、「朝がくると」を掲示します。答えは歩いてきません。大切な答えほど自分で求めなければ得られないのに、すぐに答えをほしがったり、他人に答えを求めたり、答えが分からないことを理由にやるべきことをやらなかったりする様子が、時折、見られます。「なんのために学校に行くのか」「なぜ勉強するのか」、これらの疑問の答えは、複雑で多様です。大人も答えに困ります。しかし、答えを求め続ける価値のある、ぜひ追究してほしい疑問です。

答えを求めることが好きな子どもも苦手な子どももいます。わたくしたちは、その子なりに自ら答えを粘り強く求める姿を期待して、一人一人への支援を続けます。

たのしい新井北小学校 101 年目の実りは、運動会等の記事をご覧ください。

盛り上がった和田地区民冬季運動会



2月11日（日）に、和田地区民冬季運動会が行われ、当校の子どもたちも各地区の代表選手として競技に参加しました。かつては、グラウンドの雪上で種目が行われていた時代もあったとのことですが、近年は、当校の体育館で行われるようになったそうです。

パン食い競走や押しくらまんじゅう、アベックリレーなど、ユニークな種目が多い中、圧巻は縄ないリレー。子どもたちは慣れない手つきで縄をない、年輩の方々は「待ってました」と言わんばかりに熟練の技を披露され、競技も応援もたいへん盛り上がりました。昼には、食生活改善推進委員の皆様手作りの豚汁も振る舞われました。盛り上がった運動会は、子どもたちには異世代の皆様とふれあい、交流を深める大切な機会にもなりました。

スキー日和! 中・高学年スキー教室



今年は予定通り、高学年は2月9日（金）に、中学年は2月16日（金）に、スキー教室を池の平温泉スキー場で実施することができました。

両日とも、絶好のスキー日和に恵まれ、子どもたちのスキー技術は、見る見る間に上達していきました。昼には、恒例のカレーライスに舌鼓を打ってお腹を満たしながら、班の仲間やボランティアの皆様との絆も深めました。帰校後、子どもたちは「楽しかったよ」「上手になったよ」と、うれしそうな声を響かせていました。ご多用のところ延べ37名の保護者ボランティア・地域ボランティアの皆様からのお力添えをいただき、児童にけがや事故もなく、安全で充実したスキー教室となりました。ありがとうございました。



入学の春が楽しみです



2月15日(木)、来年度入学予定園児、保護者の皆様を対象に移行学級を行いました。

全体会では、保護者の皆様に、妙高市教育委員会こども教育課指導主事 江口克也 様から「メディアとの付き合い方」、北っ子クラブ代表 太田咲子 様から「放課後児童クラブ」について、それぞれお話いただきました。また、上越教育大学 特任教授 佐藤賢治 様から「子どもと共に育つ親 ～子育てのポイントと食の大切さ～」と題して、ミニ講演を行っていただきました。中学校教諭、校長時代等の豊富な経験も交えて「子育てのポイント」を分かりやすくお話いただきました。

交流活動では、園児を1年生、5年生がお世話しながら、ゲームやお絵かきなどを一緒に楽しみました。1年生は一番歳の近いお兄さん、お姉さんとして、5年生は次年度の最高学年として、優しく園児に接していました。

4月の入学が楽しみです。

II 子育てのポイント

1 子どもと親は同じ年齢

→→共に成長し続ける

2 『子育て四訓』

「乳児はしっかり肌を離すな」

「幼児は肌を離せ、手を離すな」

「少年は手を離せ、目を離すな」

「青年は目を離せ、心を離すな」

9 食は人間形成の基本→口から入るもので身体も心も作られる

10 挨拶は家庭から →社会生活の基本

11 我が家のルール(家訓) →躾は親の責任

12 豊富な生活体験と自然体験を

(ミニ講演資料抜粋)

「なわとび大会」でがんばりを発揮

2月20日(火)、3、4限に「なわとび大会」を行いました。仲間や来校されたおうちの方の応援の中、「一人でジャンプ」、「学年部8の字ジャンプ」、「なかよし班8の字ジャンプ」の順に競技が行われました。一人一人が挑戦してみたい技を選んで練習した「一人でジャンプ」では、練習の成果を発揮しました。学年が赤白に分かれて競う「学年部8の字ジャンプ」は、縄を回す速さやリズムを調整しながら記録更新を目指しました。「なかよし班8の字ジャンプ」は、6年生のリードで1年生から6年生までが仲間を思いやりながら跳びました。個人のがんばり、チームでのがんばりを発揮し、お互いのがんばりを認め合う、よい大会となりました。



平成 29 年度 P T A 活動、ありがとうございました

平成 30 年度の活動も、よろしくお願ひします

2月7日(水)にP T A 専門部反省会、20日(火)にP T A 新旧引き継ぎ会が行われました。3月7日(水)に予定されているP T A 総会をもって、今年度のP T A 活動が終了します。平成29年度役員の皆様、今年度のP T A 活動をリードしていただき、ありがとうございました。また、P T A 会員の皆様、P T A 活動をとおして新井北小学校の教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございました。今年度で新井北小学校のP T A 会員を卒業される皆様、これまでのご支援をありがとうございました。これからも、地域の一員のお立場で、引き続きご支援をお願いいたします。

平成30年度新役員予定の皆様、会員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

☆ 輝く成果 ☆

【新潟県ジュニア美術展覧会】

奨励賞	3年	北澤 仁	寺島 駿		
	4年	市川 玲奈	小林 楓	水野 琉星	
	5年	岡田 惺大			

【新潟県児童生徒絵画・版画コンクール】

絵画の部	特選	2年	長嶺 駿	濱本 佳奈	5年	宮腰 倭
版画の部	特選	3年	後藤由希也			
		4年	田光 永愛	水野 琉星	5年	八木 郁美

【新潟県硬筆書き初め大会】

特選	2年	朝山 詩穂
----	----	-------

【上越国語教育連絡協議会 書写技能認定 書き初め会】

会長賞	3年	井口 優馬	池田 恭佳	諸橋 美空	後藤 ゆり
	4年	霜鳥 希空			
	5年	相浦 陽芽	川久保雛姫	八木 郁美	
	6年	古川 結彩	丸山 陽好		

3月の主な予定

- | | | | |
|--------|------------------|--------|--------|
| 1 (木) | 委員会新旧引き継ぎ→8日(木)へ | 15 (木) | 同窓会入会式 |
| 2 (金) | 6年生を送る会 | | 新委員会始動 |
| 7 (水) | 学習参観 | 19 (月) | 卒業式練習③ |
| | P T A 年度末総会 | 20 (火) | 給食最終 |
| | 学級懇談会 | 22 (木) | 3学期終業式 |
| 9 (金) | ベルマークの日 卒業式練習① | 23 (金) | 卒業式 |
| 13 (火) | 短縮5限後下校 | 26 (月) | 離任式 |
| | 図書ボランティアの会 | 28 (水) | 会計監査 |
| 14 (水) | 卒業式練習②、新井中体験入学 | | |